

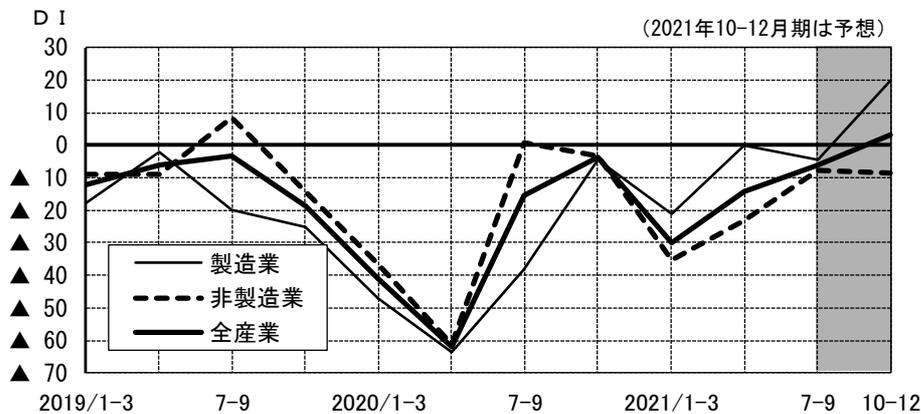
業況概要

～非製造業で上昇続くも、製造業の水準は下回る～

静岡県東部地域における2021年7-9月期の業況判断D I（全産業：前期比）は2期連続の上昇となった（前期▲14.1→今期▲6.3：以下同様）。うち、製造業では0.0→▲4.3と低下に転じた。業種別では一般機械器具と金属製品で上昇したが、食料品とパルプ・紙・紙加工品は大幅に下降した。一方、非製造業は▲23.3→▲7.8と2期連続の上昇となったが、製造業の水準は下回っている。業種別では、建設と旅館・その他宿泊所で上向いているが、それ以外の卸・小売・サービスでは若干下降した。

2021年10-12月期の予想D I（今期比）は全産業で3.2と上昇が見込まれるが、製造業（19.6）では大幅な改善への期待がある一方、非製造業（▲8.5）は低下が見込まれており、業種間の乖離が目立つ。

《業況判断D I 推移》



業況判断DI(全産業)推移

年	期	D I
2019	1-3	▲ 12.4
	4-6	▲ 6.3
	7-9	▲ 3.2
	10-12	▲ 18.7
2020	1-3	▲ 41.0
	4-6	▲ 62.1
	7-9	▲ 15.6
	10-12	▲ 3.9
2021	1-3	▲ 29.9
	4-6	▲ 14.1
	7-9	▲ 6.3
	10-12	3.2

D I : ディフュージョンインデックス (Diffusion Index) の略。

「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。

《業種別天気図》

業況上昇 ← → 業況下降



	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2021年4-6月期	☁️	☀️☁️	☁️	☁️☔️	☁️☔️	☔️	☔️	☔️
2021年7-9月期	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☁️	☁️
2021年10-12月期	☀️☁️	☀️☁️	☁️	☀️☁️	☁️	☁️	☁️	☔️

※2021年4-6月期、7-9月期は前期比。10-12月期は今期比予想

《調査の概要》

1. 調査目的

静岡県東部地域（富士川以東）の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握

2. 調査対象企業

静岡県東部地域に立地する企業 808社
回答企業数 222社（回答率 27.5%）
※今回調査より、対象企業の範囲を拡大・変更していますのでご注意ください。

3. 調査方法

当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査

4. 調査対象期間

実績：2021年7-9月期
見通し：2021年10-12月期

5. 調査時点

2021年8月-9月

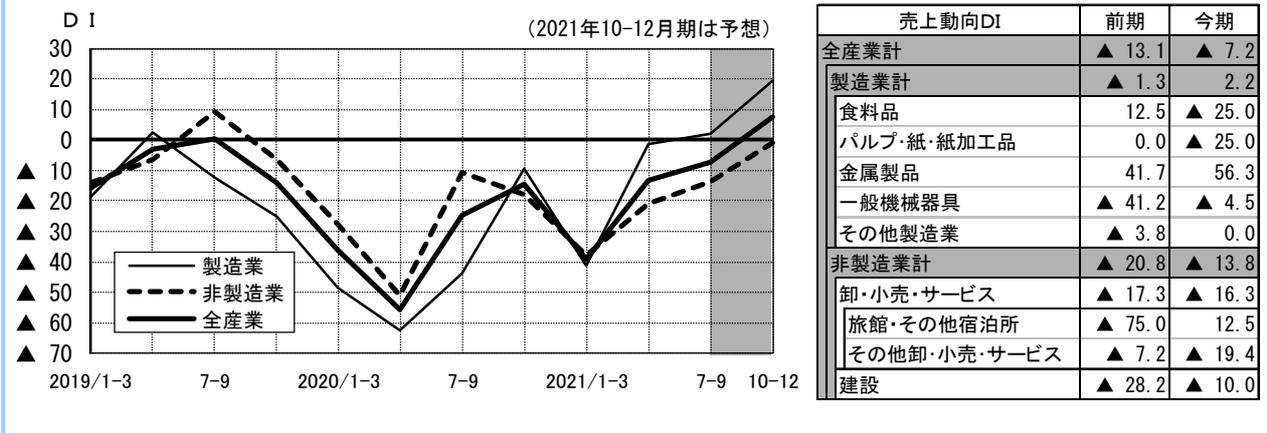
売上動向

製造業、非製造業とも前期に続いて上昇、製造業はプラスの水準を回復

2021年7-9月期の売上動向DI（全産業：前期比）は、前期に続いて上昇した（前期▲13.1→今期▲7.2）。うち、製造業では食料品（12.5→▲25.0）、パルプ・紙・紙加工品（0.0→▲25.0）では低下したが、一般機械器具（▲41.2→▲4.5）や金属製品（41.7→56.3）で上昇したことから、全体では▲1.3→2.2と上昇が続き、2019年4-6月期以来のプラス水準を回復した。一方、非製造業では、旅館・その他宿泊所を含む卸・小売・サービス（▲17.3→▲16.3）はわずかな上昇にとどまったが、建設（▲28.2→▲10.0）で改善したため、全体では▲20.8→▲13.8と上昇した。ただし、業況判断DIと同様に製造業の水準は下回っている。

2021年10-12月期の予想DI（今期比）は、全産業で7.7とプラス水準となっている。業種別でも、製造業で19.6、非製造業で▲0.8といずれも今期比10ポイント以上の上昇を見込んでおり、回復への期待感強い。

《売上動向DI推移》



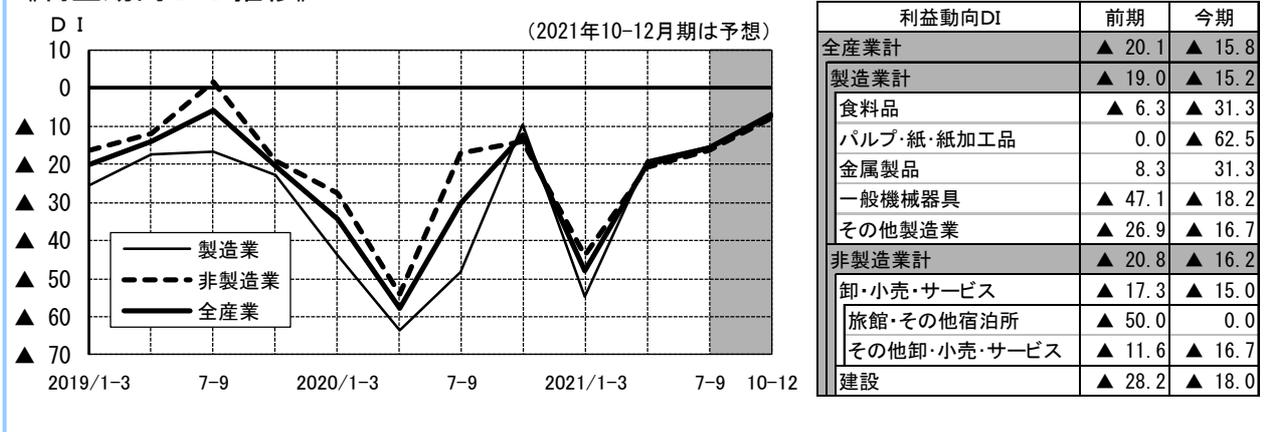
利益動向

製造業、非製造業ともDIの上昇が続く

2021年7-9月期の利益動向DI（全産業：前期比）は、前期に続いて上昇した（前期▲20.1→今期▲15.8）。うち、製造業ではパルプ・紙・紙加工品（0.0→▲62.5）と食料品（▲6.3→▲31.3）で大幅な下降となったが、一般機械器具（▲47.1→▲18.2）や金属製品（8.3→31.3）で改善が進み、全体のDIは前期に続いて上昇している（▲19.0→▲15.2）。一方、非製造業では建設（▲28.2→▲18.0）、旅館・その他宿泊所を含む卸・小売・サービス（▲17.3→▲15.0）とも改善したため、全体でも若干の上昇となった（▲20.8→▲16.2）。

2021年10-12月期の予想DI（今期比）は、全産業で▲7.2、うち製造業は▲6.5、非製造業は▲7.7といずれも今期に続いての上昇を見込んでおり、改善への期待感がみられる。

《利益動向DI推移》

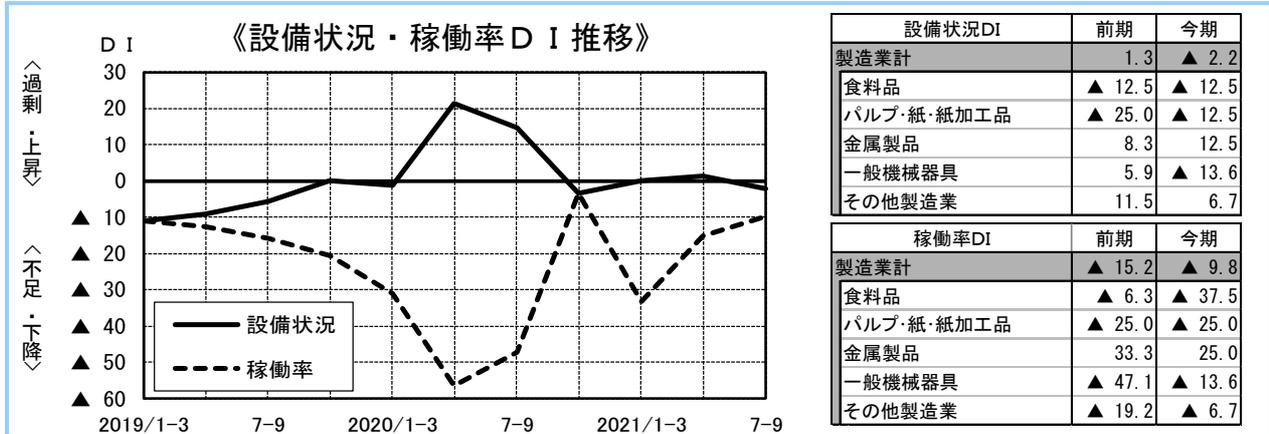


設備状況・稼働率
(製造業)

設備状況は若干「不足」に転じる、稼働率は「下降」感の緩和続く

2021年7-9月期の設備状況DI(製造業)は、1.3→▲2.2と下降し、「過剰」から若干「不足」の判断に転じた。業種別では、パルプ・紙・紙加工品などでDIが上昇したが、一般機械器具は下降した。

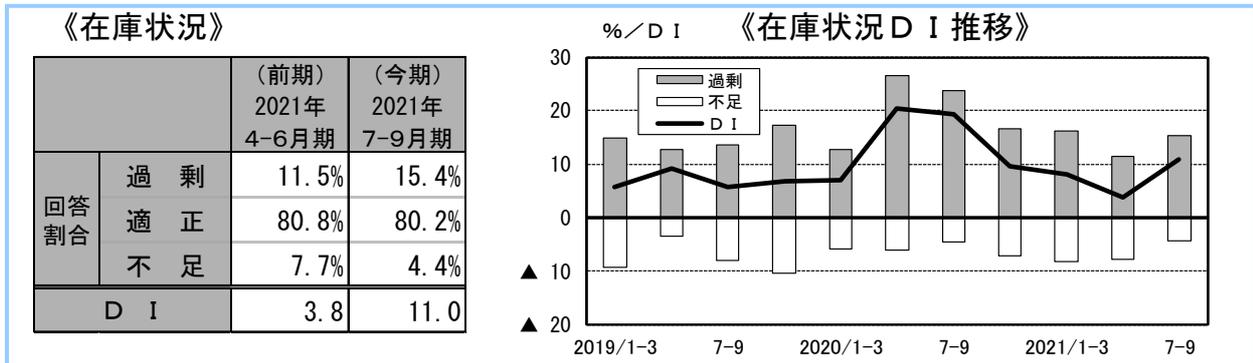
稼働率DI(製造業：前期比)は、▲15.2→▲9.8と上昇し、「下降」感は引き続き緩和されている。業種別では、食料品と金属製品でDIが下降となったが、一般機械器具は大幅に上昇した。



在庫状況
(製造業)

DIは5期ぶりに上昇、「過剰」感が強まる

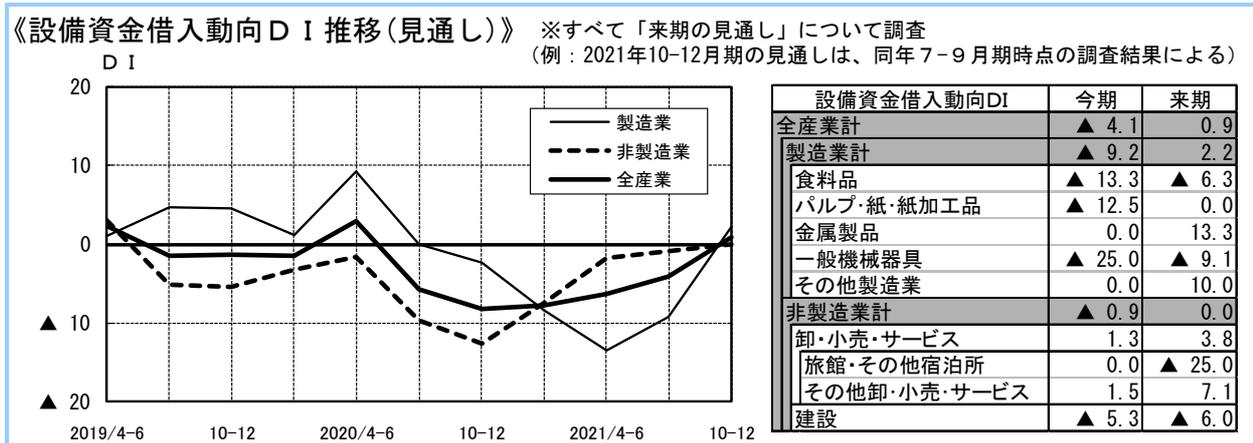
2021年7-9月期の在庫状況DIは、3.8→11.0と5期ぶりに上昇に転じ、「過剰」感が強まっている。業種別でも、一般機械器具を除いていずれもDIが上昇している。



設備資金借入
動向(来期予想)

全産業DIは4期連続の上昇で「借入増加」基調に転じる

2021年10-12月期(来期)の設備資金借入動向DI(今期時点での予想、全産業)は、4期連続の上昇となり、2020年4-6月期以来の「借入増加」基調に転じた(▲4.1→0.9)。業種別では、製造業が▲9.2→2.2と前期比10ポイント以上上昇、非製造業も▲0.9→0.0と小振りながら4期連続上昇となっている。



経営上の問題点

「原材料・資材・仕入商品の値上がり」の割合が上昇続く

「受注・売上の停滞・減少」の割合は前期52.5%→今期50.5%と4期連続で低下したが、低下幅は前期より縮小している。一方、「原材料・資材・仕入商品の値上がり」の割合が29.3%→35.5%と上昇が続いている。業種別でみると、製造業では50.0%→50.0%で引き続き高い状態にある。また、建設でも20.5%→40.0%に上昇しており、重要な問題点になりつつある（なお、卸・小売・サービスでは13.6%→15.4%）。

《経営上の問題点（上位8項目）》

（複数回答可）

順位	問題点	2021年 1-3月期		2021年 4-6月期		2021年 7-9月期		順位変動
		企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1	受注・売上の停滞・減少	112	58.0%	104	52.5%	111	50.5%	→
2	人材の育成	74	38.3%	74	37.4%	81	36.8%	↑
3	原材料・資材・仕入商品の値上がり	36	18.7%	58	29.3%	78	35.5%	↑
4	従業員の高齢化	75	38.9%	77	38.9%	76	34.5%	↓
5	求人難	46	23.8%	54	27.3%	58	26.4%	→
6	人件費の増加	35	18.1%	34	17.2%	43	19.5%	→
6	生産・販売能力の不足	32	16.6%	30	15.2%	43	19.5%	↑
8	過当競争・製品安	42	21.8%	34	17.2%	38	17.3%	↓

（回答企業数：193）

（回答企業数：198）

（回答企業数：220）

《業種別回答企業数およびDI》

※借入動向（設備資金）は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	回答 企業数	DI						
		業況判断	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	借入動向
全産業計	222	▲ 6.3	▲ 7.2	▲ 15.8	-	-	-	0.9
製造業計	92	▲ 4.3	2.2	▲ 15.2	▲ 2.2	▲ 9.8	11.0	2.2
食料品	16	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 31.3	▲ 12.5	▲ 37.5	18.8	▲ 6.3
パルプ・紙・紙加工品	8	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 62.5	▲ 12.5	▲ 25.0	25.0	0.0
金属製品	16	43.8	56.3	31.3	12.5	25.0	12.5	13.3
一般機械器具	22	0.0	▲ 4.5	▲ 18.2	▲ 13.6	▲ 13.6	4.8	▲ 9.1
その他製造業	30	▲ 10.0	0.0	▲ 16.7	6.7	▲ 6.7	6.7	10.0
非製造業計	130	▲ 7.8	▲ 13.8	▲ 16.2	-	-	-	0.0
卸・小売・サービス	80	▲ 12.5	▲ 16.3	▲ 15.0	-	-	-	3.8
旅館・その他宿泊所	8	12.5	12.5	0.0	-	-	-	▲ 25.0
その他卸・小売・サービス	72	▲ 15.3	▲ 19.4	▲ 16.7	-	-	-	7.1
建設	50	0.0	▲ 10.0	▲ 18.0	-	-	-	▲ 6.0

特別調査：感染拡大後新たに開始・拡充した事業・取組

国内での新型コロナウイルスの感染拡大（概ね2020年3-4月）以降回答時点までに、自社で新たに開始、または規模や内容を拡充した事業・取組について質問し、119件の回答があった（1社で複数回答した場合があるため、上記回答件数と回答企業数は一致しない。また、単なる感染防止対策にとどまると判断された回答は除外した）。

回答があった具体的な事業・取組の事例は多岐にわたるが、「新製品の開発、新商品・サービスの取扱開始」「新規市場・顧客の開拓、取引先の拡大」「売り方の変革（通販、自社ECサイト設置、営業や販売体制の見直しなど）」「業務体制の変革（社内外でのオンライン会議、業務のペーパーレス化など）」に該当する内容が多くみられる。

一方、上記事業・取組の現在までの成果は、「多少あった」37.8%、「かなりあった」30.3%となっており、全体の約3分の2は肯定的に評価されている。また、当初と比較した事業・取組の現状は、「同程度で継続している」61.3%、「規模・内容を拡充している」22.7%となっている。

また、今後感染状況が改善された場合の上記事業・取組の方向性は、「現状程度で継続したい」42.5%、「規模・内容を拡充したい」37.2%となっており、全体の約8割の事業・取組については、現状並みかそれ以上のレベルで今後も継続が見込まれている。

現在までの成果（n=119）	
かなりあった	30.3%
多少あった	37.8%
あまりなかった	9.2%
ほとんどなかった	2.5%
開始直後でまだ評価できない	10.1%
わからない	7.6%
無回答	2.5%

当初と比較した現状（n=119）	
規模・内容を拡充している	22.7%
同程度で継続している	61.3%
規模・内容を縮小している	7.6%
現在は中止している	5.0%
無回答	3.4%

状況改善後の方向性（n=113）	
規模・内容を拡充したい	37.2%
現状程度で継続したい	42.5%
規模・内容を縮小したい	10.6%
取組自体中止したい	0.9%
わからない	6.2%
無回答	2.7%